

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

第2期下諏訪町まち・ひと・しごと創生推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

長野県諏訪郡下諏訪町

3 地域再生計画の区域

長野県諏訪郡下諏訪町の全域

4 地域再生計画の目標

本町は、明治26年(1893)に町制を施行し、昭和33年に隣接する岡谷市の一部を編入して、昭和48年(1973)には人口がピークの27,500人に達した。

本町の総人口は、26,567人であった昭和60年(1985)から人口減少傾向となり、住民基本台帳によると令和6年(2024)には18,562人まで落ち込んでいる。国立社会保障・人口問題研究所によると、2050年には総人口が11,840人となる見込みである。

令和2年(2020)の国勢調査によると年齢3区分別の人口は、年少人口(0～14歳)は昭和55年(1980)の24.0%(6,370人)から10.8%(2,056人)へ低下、生産年齢人口(15～64歳)は昭和55年(1980)の65.8%(17,490人)から50.4%(9,581人)へ低下、高齢人口(65歳以上)は10.2%(2,714人)から38.8%(7,360人)へ上昇と推移しており、少子高齢化が進んでいることが分かる。今後も少子高齢化がさらに進むことが想定されている。

本町の自然動態をみると、出生数が昭和55年(1980)の354人をピークに減少し、令和6年(2024)には68人となっている。その一方で、死亡数は335人(令和6年(2024))となっており、出生者数から死亡者数を差し引いた自然増減は▲267人(自然減)となっている。また、平成9年(1997)に自然減に転じてからは一貫して、自然減で推移している。

社会動態をみると、昭和55年(1980)から減少人数に幅はあるものの、一貫して

社会減が続いており、令和6年（2024）には83人の社会減（転入者数536人、転出者数619人）となっている。

以上のように、長らく続く自然減及び社会減により、人口減少に歯止めがかからない状況が継続している。

今後も人口減少や少子高齢化が進むことにより、地域における担い手不足やそれに伴う地域産業の衰退、さらには地域コミュニティの衰退など、住民生活への様々な影響が懸念される。

これらの課題に対応し、持続可能で将来にわたって活力ある町であり続けるために次の事項を本計画期間における基本目標として掲げ、目標の達成を図る。

- ・基本目標1 多様な産業と活躍の場があり、誰もが訪れたいまちづくり
- ・基本目標2 持続可能で住み続けたいまちづくり
- ・基本目標3 全ての世代がいきいきと暮らせるまちづくり

【数値目標】

5-2の ①に掲げ る事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (2030年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	町内事業所数	944事業所	960事業所	基本目標1
ア	新規事業所数	7事業所	10事業所	基本目標1
ア	町内製造品出荷額	327億328万円	400億円	基本目標1
ア	昼間人口割合	93.39%	103%	基本目標1
ア	転出に対する転入割合	86.59%	97.90%	基本目標1
ア	町内住宅居住率	92.60%	94%	基本目標1
ア	雇用に関する住民満足度	57.50%	84.75%	基本目標1
ア	観光入込客数	1,239,300人	1,450,000人	基本目標1
ア	1回あたりの旅行消費額	日帰り： 8,793円 宿泊：10,904円	日帰り： 10,000円 宿泊：14,000円	基本目標1

ア	観光振興に係る住民満足度	57.75%	77.38%	基本目標 1
イ	インフラ整備に対する住民満足度	65.88%	83.75%	基本目標 2
イ	地域交通に対する住民満足度	62.75%	82%	基本目標 2
イ	防災・減災対策に係る住民満足度	52.25%	88.25%	基本目標 2
イ	災害に備えて対策をとっている町民の割合	27.03%	90%	基本目標 2
イ	消防団員充足率	90.43%	100%	基本目標 2
イ	町内交通事故件数	36件	30件以下	基本目標 2
イ	町内刑法犯総数	99件	60件以下	基本目標 2
イ	温室効果ガス排出量	85,937t-CO2	48,177t-CO2	基本目標 2
ウ	合計特殊出生率	1.45	1.45	基本目標 3
ウ	子育て支援に係る住民満足度	65.75%	84.92%	基本目標 3
ウ	学校生活満足度	小学校:86% 中学校:93.20%	小学校:93% 中学校:95%	基本目標 3
ウ	学校教育に係る住民満足度	66.13%	85.88%	基本目標 3
ウ	平均自立期間	男性:81.0歳 女性:86.6歳	男性: 81.0歳以上 女性: 86.6歳以上	基本目標 3
ウ	高齢者の暮らしやすさ満足度	68.25%	86.63%	基本目標 3
ウ	加入者一人当たり医療費	国保: 448,020円	国保: 448,020円以内	基本目標 3

		後期： 971,849円	後期： 971,849円以内	
ウ	スポーツ実施率	49.20%	65%	基本目標3
ウ	体力合計点	50.0点	54.0点	基本目標3

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

- まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

第2期下諏訪町まち・ひと・しごと創生推進事業

- ア 多様な産業と活躍の場があり、誰もが訪れたいとなる事業
- イ 持続可能で住み続けたいとなる事業
- ウ 全ての世代がいきいきと暮らせる事業

② 事業の内容

- ア 多様な産業と活躍の場があり、誰もが訪れたいとなる事業

下諏訪町の多様な産業や地域資源を生かし、誰もが働きやすく訪れたいとなる環境を整えることで、町全体の活力向上をめざす事業。

【具体的な事業】

- ・ 地域産業にかかる消費促進・販路拡大等への支援
- ・ 創業者支援のワンストップ窓口の開設
- ・ 空き家を活用した移住・定住の促進
- ・ 地産地消や地域貢献ができる付加価値の高い地域ならではの旅行、体験の提供 等

- イ 持続可能で住み続けたいとなる事業

誰もが便利さと安全性、快適さを実感できる暮らしの環境を整え、住み続けたいと感じられる持続可能な地域づくりを推進する事業。

【具体的な事業】

- ・ グランドデザインの実現等による地域特性を活用した都市の魅力向上
- ・ 防災資機材や災害時用食糧等の備蓄品の整備
- ・ 住民と連携した生ごみの堆肥化による燃やすごみの削減 等

ウ 全ての世代がいきいきと暮らせる事業

妊娠・出産から子育て期までの総合的支援の充実や、多様な学びの場の整備、地域ぐるみの見守りの強化により、こどもが健やかに育ち、大人も高齢者も生涯にわたり自分らしく生活できるまちを実現する事業。

【具体的な事業】

- ・ 子育て・多世代交流施設の整備と運営
- ・ 安心して生み育てられる体制の充実
- ・ ICT 環境の整備や情報活用能力の育成
- ・ 産官学の連携による健康づくりとスポーツ振興の支援 等

※なお、詳細は第3期下諏訪町未来を創る総合戦略のとおり。

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

2,500,000 千円（2026年度～2030年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（PDCAサイクル）

毎年度9月を目途に外部有識者による効果検証を行い、翌年度以降の取組方針を決定する。検証後速やかに本町公式WEBサイト上で公表する。

⑥ 事業実施期間

2026年4月1日から2031年3月31日まで

6 計画期間

2026年4月1日から2031年3月31日まで